

2017春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス

No. 23

2017年3月1日

日本鉄道労働組合連合会

JR東海ユニオン 第2回団体交渉

成果の適正配分として

満額回答を求める！

～ 情勢認識を踏まえた要求根拠を主張 ～

J R 東海ユニオンは、2月23日に第2回の団体交渉を開催し、2017春闘について、情勢認識を踏まえた要求根拠を会社側に主張した。

組合側は、J R 東海の足元の業績をみれば、過去最高であった昨年度の決算を更に上回るペースでここまで推移してきており、この間弛まず安全安定輸送を確保し続けたJ R 東海ユニオン組合員の努力が結実したものであるとの見解を示した。とりわけ、長期債務の縮減等により、経営体力も盤石になっていることを鑑みれば、要求内容には妥当性があり、あらためて成果の公正配分として、満額回答を強く主張した。

これに対し会社側は、組合員の努力に感謝の意を示しつつも、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響など、経済動向は極めて見通しにくい状況と認識を示した。また、3年連続ベア実施と当社の賃金水準を考慮し、更に上げなければならない要素が見当たらないと、厳しい見解に終始した。